

報道機関各位

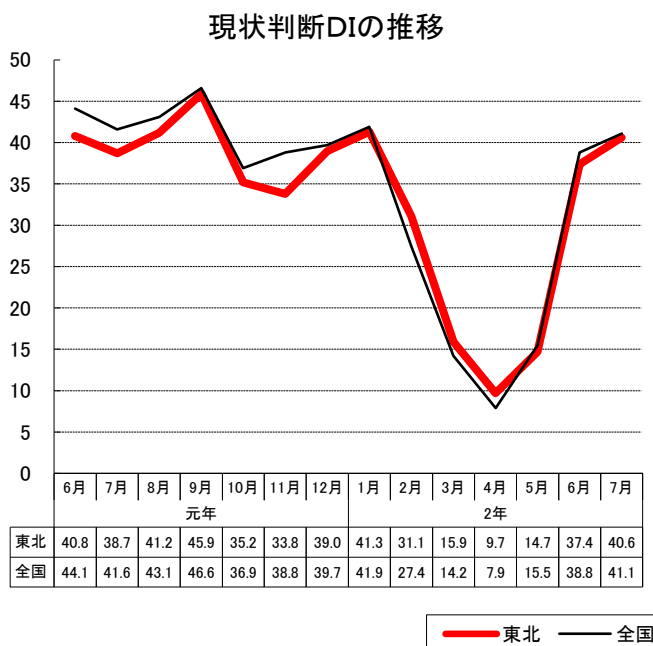
公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年7月 東北分  
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年7月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

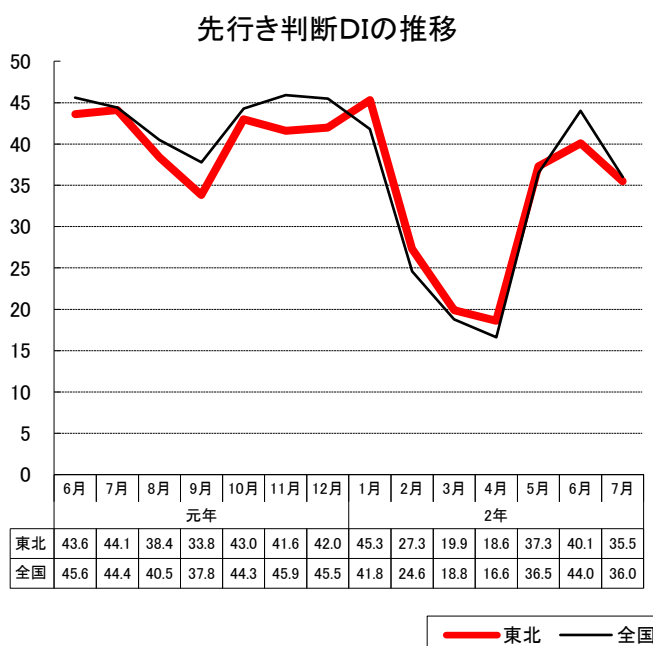
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「40.6」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+3.2ポイントとやや上回った。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

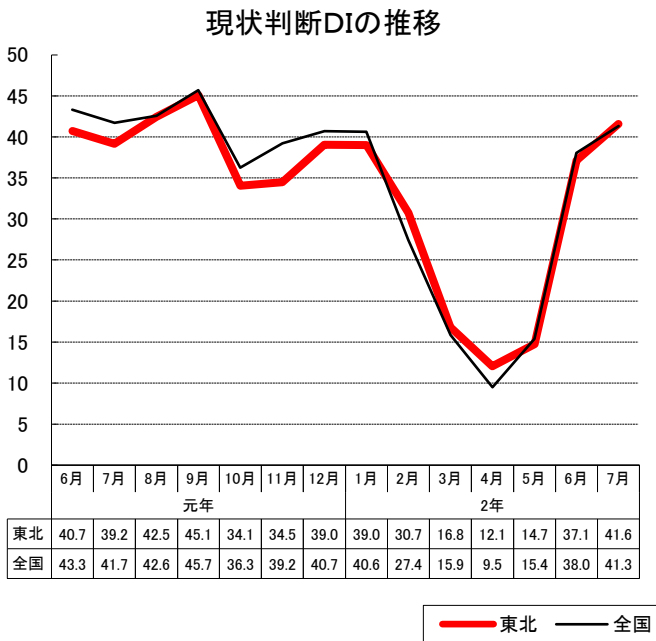
先行き判断DIは「35.5」と前月を下回った。前月と比較し▲4.6ポイントと大幅に下回った。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「41.6」と3か月連続で前月を上回った。前月と比較し+4.5ポイントと大幅に上回った。



○家計動向関連…コンビニ、家電量販店、美容室、都市型ホテル等の業種でDIが前月を下回ったが、タクシー運転手、乗用車・自動車備品販売店、旅行代理店、一般小売店、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「42.8」(+0.9)と、3か月連続で前月を上回った。

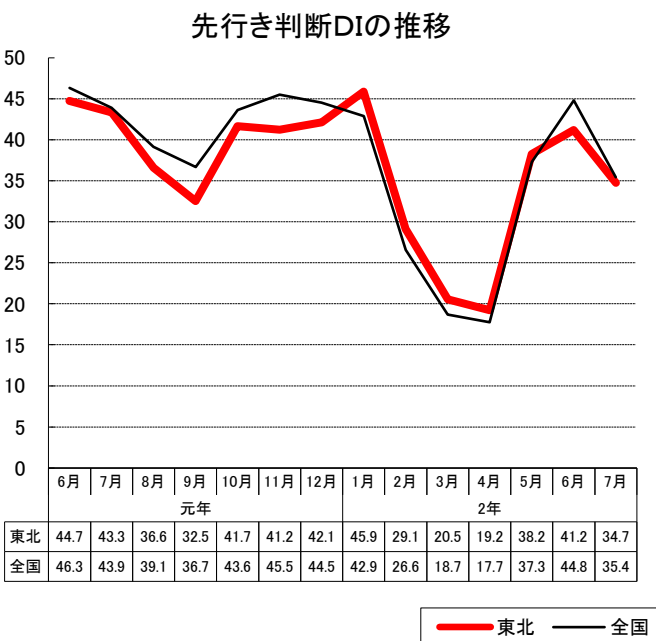
○企業動向関連…電気機械器具製造業、輸送業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所の業種でDIが前月を下回ったが、その他非製造業、その他企業、食料品製造業、広告代理店、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「40.4」(+12.5)と、3か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「36.3」(+12.6)と、3か月連続で上回った。

### (2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「34.7」と前月を下回った。前月と比較し▲6.5ポイントと大幅に下回った。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、設計事務所、タクシー運転手、家電量販店、住宅販売会社の業種でDIが前月を上回ったが、コンビニ、通信会社、観光型ホテル・旅館、商店街、その他住宅投資、衣料品専門店、高級レストラン等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「34.14」(▲8.0)と、前月を下回った。

○企業動向関連…その他企業、金属製品製造業、通信業、土石製品製造業、農林水産業の業種でDIが前月を上回ったが、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、輸送業、その他非製造業、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「37.5」(▲1.5)と、前月を下回った。

○雇用関連…DIは「33.8」(▲5.7)と、前月を下回った。

## <参 考>

### ■D Iの推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）D I

	元年							2年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北現状	40.7	39.2	42.5	45.1	34.1	34.5	39.0	39.0	30.7	16.8	12.1	14.7	37.1	41.6
家計動向関連	40.0	38.1	43.0	45.0	33.5	34.4	38.9	38.2	31.6	17.0	14.5	16.1	41.9	42.8
企業動向関連	41.9	40.7	39.6	46.4	33.6	35.0	39.4	40.7	27.3	17.1	8.3	11.4	27.9	40.4
雇用関連(参考)	43.4	43.4	44.4	43.1	38.9	34.2	39.5	40.8	31.3	15.0	1.6	11.8	23.7	36.3

#### （2）先行き判断D I

	元年							2年						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
東北先行き	44.7	43.3	36.6	32.5	41.7	41.2	42.1	45.9	29.1	20.5	19.2	38.2	41.2	34.7
家計動向関連	44.9	43.1	35.2	31.7	40.5	41.5	41.2	46.7	29.9	22.9	21.2	40.0	42.1	34.1
企業動向関連	42.6	43.6	37.5	33.6	47.1	41.4	43.9	45.7	22.7	16.4	15.9	32.6	39.0	37.5
雇用関連(参考)	47.4	44.7	44.4	36.1	38.9	39.5	44.7	40.8	35.0	13.8	10.9	36.8	39.5	33.8

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和 2年 7月25日～31日

回答者数 172/189 名、回答率 91.0%（全国 1,845/2,050 名、90.0%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （１）現状判断理由

##### ○「良くなっている」

（住関連専門店）…7月は新型コロナウイルス禍の中で来客数も売上もそこそこあった。当店では特別定額給付金で買物をする人も何人かみられた。

##### ○「やや良くなっている」

（一般小売店[酒]）…ようやく売上が前年比で6割ほどに回復してきた。心配していたお中元も例年どおりの注文数と単価で企業、個人共に注文がきている。ただ、飲食店と観光関係の客に関してはまだまだ厳しい状況が続いている。少し回復傾向になったかと思うと感染者が出てしまうという歯がゆい状態が続いている。

（百貨店）…新型コロナウイルス禍の短縮時間営業時に比べれば戻りつつあるものの、自粛営業再開後の活発な動きはなくなった。高額商品のみ好調で全体数字を引き上げている。

（衣料品専門店）…新型コロナウイルス第1波ピークの頃に比べれば消費者の買物意欲は戻りつつあるが、給付金特需が落ち着きつつあるなか、再び慎重な買物行動をとる方が増えてきているのが来客数に表れている。

（乗用車販売店）…新規来客数は前年比70%と改善傾向にある。連動して販売台数、収益も若干であるが上向きになってきている。

（観光型旅館）…今月上旬は県主体の県民限定キャンペーン、下旬はGo To Travelキャンペーンが始まり、予約の件数は増えてきている。

（その他サービス[自動車整備業]）…以前よりはにぎわいを回復してきている。来客数、売上共に前年同期に比べて70%ほどに回復している。

（金融業）…緊急事態宣言解除以降、小売、飲食への客足の回復が緩やかながらみられる。地場農産品は他産地の天候不順等の要因もあり単価は相応の水準で高止まっている。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…4月に比べればまだ良いのだが、6月からの回復傾向が7月中旬以降の新型コロナウイルス感染者の増加で再び悪化傾向に変化しており、楽観視はしていない。

（その他企業[企画業]）…新型コロナウイルスの感染者の多くは大都市やその周辺地域なので、当地域ではやや安心感がみられる。また、緊急事態宣言の解除もあって買物行動に活気が出てきている。

（新聞社[求人広告]）…経済活動の再開に伴い、金融、IT、通信を中心に6月よりは多少戻りつつあるが、求人数は前年比の6割半ばである。流通、サービス等の求人主要業種が全く動かず、厳しい状態が続いている。

（職業安定所）…新規求人数は前年同期比で減少しているが3か月前と比べて減少幅が4割から2割台へと小さくなっている。

##### ○「変わらない」

（その他小売[ショッピングセンター]）…6月の経済活動再開後、多少客の動きがみられるものの、新型コロナウイルスに対する不安感で消費のマインドは以前と余り変わっていない。

（一般レストラン）…緊急事態宣言解除後から少しずつではあるが良くなっている。ただ、市内での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生以降、予約のキャンセルが相次いでおり、予断を許さない状態である。

（旅行代理店）…国内旅行需要においては個人宿泊予約がGo To Travelキャンペーンや県民割を利用しての予約は増加傾向にある。団体においてはGo To Travelキャンペーンがスタートしてもまだ未発生の状態である。今後の新型コロナウイルス感染拡大がやはり懸念されている。海外旅行需要は渡航禁止措置の影響により受注ゼロ状態が継続している。

（タクシー運転手）…雨が続けているが乗車回数が増えることもない。むしろ、晴天時の方が人の動きがあり売上が伸びている。緊急事態宣言以降、外出が遠のいている様子がうかがえる。

(食料品製造業) …7月に入り人の動きが出てきて土産も少し動くようになったが、まだ駅の売店は前年の半分である。郊外店やスーパーテナント店は前年近い売上に回復している。お中元商品が売れているので発送件数は前年並みであり、トータル売上は8割程度である。

(出版・印刷・同関連産業) …イベントの中止、学校行事の中止等に伴う受注減、広告収入の減少が顕著になっている。

(広告業協会) …新型コロナウイルス感染の再燃により、やや戻ってきた広告出稿に、再び陰りが見え始めてきている。さらに、今月は天候不順で季節性のあるプロモーションが打ち出しにくい状況である。

## ○「やや悪くなっている」

(商店街) …前月に引き続き7月も現状は大変悪く、期待もできないし希望もない。新型コロナウイルス感染症の影響や地元の人が新型コロナウイルスに感染したという報道、この先のねぶた祭の中止等、事業者の心の中は喪失感で一杯である。

(スーパー) …新型コロナウイルス禍で買い置きの傾向も下降気味になっている。また、特売、クーポン時に買物が集中しふだんの来客数が減少しているため、来客数が前年を割り込んでいる。

(家電量販店) …給付金特需があったがそれもどんどん落ち着いてきている状況で、少しずつ悪化してきている。

(通信会社) …客の設備投資意欲がより悪い方向に向かっているように見受けられる。

(遊園地) …新型コロナウイルスに加えて梅雨が長引いており、4連休も低調で前年の7割にとどまっている。

(住宅販売会社) …契約直前の物件キャンセルが増えている。

(その他住宅投資 [住宅展示場運営会社]) …梅雨や新型コロナウイルス感染拡大の影響などで来場が鈍化しており、前年比7割で推移している。

(人材派遣会社) …第1四半期の受注数7割減から7月は5割減と若干踏みとどまっている。

## ○「悪くなっている」

(コンビニ) …新型コロナウイルスの影響により、オフィス街、繁華街、夜間の売上が大幅に減少している。6月の経済活動再開で持ち直したが7月に入り、感染者の増加による外出自粛や在宅勤務等により人の動きが大幅に制限されており、来客数の大幅減少が発生している。加えて天候不順も人の動きを悪くしている。

(高級レストラン) …新型コロナウイルスの第2波が来て大分キャンセルが出ている。少し良くなりつつあるかなと思っていたが、残念ながらそうはいかなかった。

(公認会計士) …客の月次、決算状況から判断している。今月は建設業関係の申告が多いが、前年比で売上増加あるいは現状維持くらいで落ち着いている企業が多く、前年比50%減の企業は少ない。逆に小売業、サービス業は大幅に落ち込んでおり、全体としては悪くなっている。

(コピーサービス業) …主力商品のIT機器が部品調達の遅れにより製品の入荷が滞り、受注しても納入できない状態が続いている。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(乗用車販売店) …市場環境が良くなれば来場者数は増えてくる。メーカーの集客イベント等も少しずつ開催していく予定はあるので、現在の状況よりは回復していく。

(住宅販売会社) …他地域からの移住希望が多く、中古住宅の問合せや販売が増えている。

(金属製品製造業) …客先からの情報では、海外への出荷が想定よりも大きく回復しているとのこと。客先の回復から受注につながるまでは若干時間が掛かるとはいえ、徐々に受注も回復してくることが予想される。

(通信業) …国から在宅勤務7割の要請が出たため、リモートワークの見直しや、設備投資などで問合せが増えている。

(新聞社[求人広告]) …夜の飲食店では、時短営業などにより新型コロナウイルス感染防止策を具体的に

取っている店舗が徐々に活気を取り戻してきている。エリア内で感染者が多発しなければ小規模イベントの復活などで更に上向きになる実感がある。

## ○「変わらない」

(百貨店) …地域内の他業種を含めて経済活動の低迷が続くと予想され、個人消費も上向くとは考えにくい。加えてメーカー側の生産減により、今後商品確保が前年と比較しても困難になることが考えられる。

(高級レストラン) …Go To Travelキャンペーンが始まり、宿泊は土日連休などは入っているが、レストランの集客は朝食のみとなっており、昼夜は御利用いただけていない状況である。地域の方が新型コロナウイルスを危険視するためにホテルの利用控えが増えているようである。昼夜の動きが悪い状況は続くと見込んでいる。

(タクシー運転手) …最近、当市においても毎日感染者数の発表があり、高齢者は医療機関にも行かない状況である。新型コロナウイルスの影響で先行きも暗い。

(観光名所) …ゴールデンウィーク中の自粛により、新型コロナウイルスの問題が終息に向かったように思えたが、このところの首都圏での発生状況から再燃が懸念される。秋以降に修学旅行などの大型団体の予約があるものの、そうなれば春同様、全キャンセルになる可能性が高い。

(広告代理店) …新型コロナウイルスと共存しながらということを考えて、広告、広報の在り方が根本的に変わってくる。

(その他企業[協同組合]) …受注件数、低価格、コストダウン、超短納期等、依然として受注環境は厳しい状態であり、しばらくは回復も見込めない。今後ますます同業他社との受注競争が厳しくなる。

(職業安定所) …新規求人数がやや上向く一方で、解雇、雇止めの情報もあり、気になるところである。

## ○「やや悪くなる」

(衣料品専門店) …給付金特需が落ち着き、新型コロナウイルスの第2波が来ている現状下では、今後良くなる要素が見つからない。

(通信会社) …新型コロナウイルス感染者数が首都圏で増えてきている影響が、地方にも出始めるとみている。

(電気機械器具製造業) …新型コロナウイルスのワクチンや治療法が確立されていないなか、今後の景気が良くなるという判断をすることは難しい。また、米国、中国の貿易摩擦など、対立関係が浮き彫りとなっているのも今後の懸念材料だと考えている。

(公認会計士) …建設業関係はおおむね現状維持で推移するとみているが、小売業、サービス業の売上回復はここ2～3か月では厳しく、全体としての景気は更に悪化するとみている。

## ○「悪くなる」

(商店街) …予想が付かないのは前月と同じだが、気候、新型コロナウイルス、自粛と売上のめどが立たない。

(コンビニ) …新型コロナウイルスの感染者が地方ではまだ少ない状況であるが、今後全国的に広がれば今より一層の自粛を余儀なくされ、客の動きは悪くなると予測される。

(その他専門店[食品]) …新型コロナウイルス感染の広がりによる自粛ムードは年内で収まりそうにない。秋のイベントも全て中止で、客の来店が見込めない。

(輸送業) …主要製造業取引先の減産は今後も固定化したようである。製品出荷はもちろんのこと、工場内の製造に関わる業務も減ることになるので、人員に余剰が発生してくることになる。他の客の売上が伸びないなか、ますます厳しい経営環境になってくる。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …新型コロナウイルス感染者の増加による自粛要請が再び高まることを想定しており、移動制限による経済への影響は甚大になる。特に夏休みから秋の行楽シーズンで盛り上がるべき飲食、観光が振るわないことは大きな損失につながる。

(人材派遣会社) …新型コロナウイルスの影響拡大への懸念とこの状況の長期化への不安などにより、人材活用数を手控えたり保留したりする傾向が少しみえてきている。